

第二期

帯広市環境基本計画



帯 広 市

目 次

第1章 帯広市環境基本計画の基本的な考え方

1. 私たちのまわりで起きている環境問題	1
2. いままでの国の取り組み	2
3. この計画の趣旨及び活用方法は	3
4. 対象となる期間と地域は	3
5. 対象とする環境の要素は	3
6. 市民・事業者・環境NGO・行政の役割と責務について	4
7. 第二期帯広市環境基本計画の体系	5

第2章 帯広市の概要

1. 地理・自然的条件	7
2. 社会・経済の概要	9

第3章 環境の現況・課題・施策

I. 人と生きものとともに快適に暮らせるまちづくり（生きものとの共生）

現在の状況と課題	13
1. 多様な動植物の生息環境を保全するために	13
2. 自然の息吹を感じながら暮らすために	15
3. 豊かな河畔林に続く緑の道を守り続けるために	17
4. 帯広の生物とその暮らしを守るために	18
目標	19
具体的な取り組み	19
市民の手による環境チェック項目	20
帯広コアエリア計画のあらまし	21

II. みんなが安心して暮らせるまちづくり（公害規制）

現在の状況と課題	23
5. 安全な空気のもとで暮らすために（大気）	23
6. 安全な水辺を守るために（水質）	25
7. 静かにゆったりと暮らせるように（騒音・振動）	27
8. さわやかな空気のもとで暮らすために（悪臭）	28
9. 安全な作物をつくりつづけるために（土壌）	28
10. 安定した地盤をめざして（地盤）	29
11. 安心して暮らすために（化学物質）	29
目標	30
具体的な取り組み	31
市民の手による環境チェック項目	34

Ⅲ. ごみを出さないまちづくり（循環型社会）

現在の状況と課題	35
12. 私たちの生活から出るごみを減らすために	35
13. ごみを資源として利用するために	38
目標	40
具体的な取り組み	40
市民の手による環境チェック項目	41

Ⅳ. 地球の未来を考えたまちづくり（地球規模での環境保全）

現在の状況と課題	42
14. 地球温暖化の防止にむけて	42
15. 地域の酸性化を防止するために	49
16. オゾン層を破壊しないために	50
17. 豊かな森林を守るために	51
18. 世界の人々と手を携えた環境保全をめざして	52
目標	53
具体的な取り組み	53
市民の手による環境チェック項目	54

Ⅴ. うるおいと安らぎのあるまちづくり（アメニティーの保全と創造）

現在の状況と課題	55
19. 自然な水辺を取り戻すために	55
20. 市街地に身近ないこいの場を	56
21. きれいなまちで暮らすために	57
22. おいしい水の恵みがずっと得られるように	58
目標	59
具体的な取り組み	59
市民の手による環境チェック項目	60

Ⅵ. 歴史を大切にしたまちづくり（自然・文化の保存）

現在の状況と課題	61
23. 歴史が築き上げた文化を大切に	61
24. 自然が創りあげた地形を大切に	63
25. 自然とともに生きるアイヌの文化を現代に活かす	64
26. 地域が育てた景観をまちづくりに活かす	65
目標	66
具体的な取り組み	66
市民の手による環境チェック項目	66

Ⅶ. まちづくりは市民の手で（市民参加・啓発）

現在の状況と課題	67
27. まちづくりへの積極的参加をめざして	67
28. 自主的な取り組みを進めるために	68
29. 十勝の広域的な視点からみた市民ネットワークを推進するために	69
目標	70
具体的な取り組み	70

第4章 環境配慮行動指針

I. 主体ごとに配慮すべきこと

1. 市民が配慮すべきこと	71
2. 事業者が配慮すべきこと	71
3. 環境NGOが配慮すべきこと	71
4. 行政が配慮すべきこと	71

II. 地区ごとに配慮すべきこと

1. 地区の区分	72
2. 地区の特性	73
3. 開発事業に対する考え方	74

Ⅲ. どのような行動をするべきか

市民編	77
1. 毎日の生活の中ですぐ実践できること	78
2. 積極的に取り組んでみましょう	82
事業者編	83
1. 事業活動や社会貢献活動	83
2. 専門的な活動にとまなう取り組み	86

第5章 推進体制と進行管理

1. 計画の推進及び進行管理の体制	89
2. 環境総合指標	91
3. 現在の達成状況	92
4. 市民の手による環境チェック項目	93

資料編

策定の経過	94
帯広市環境基本条例	96
環境基準・規制基準	100
用語の解説	113